DAKIKI

305928

□要

□明

DAKIKI□、表面IgA1を発現し、重合IgA1を分泌するヒトエプスタイン・バーウイルス（EBV）陽性のBリンパ芽球様細胞株である。これ□もともと、鼻咽頭癌の成人患者の末梢リンパ球から単離され、その後、持続的に増殖する浮遊培養として樹立された。 これらの細胞□典型的なリンパ芽球様形態を示し、血清を添加した RPMIベースの培地で増殖する。
DAKIKI□、ヒトIgA1産生B細胞のモデルとして、特に免疫グロブリンの合成、分泌の調節、および翻訳後糖鎖修飾に関する研究において広く利用されている。
生化学的およびレクチンを用いた分析により、 DAKIKI 細胞から分泌される IgA1 □、ヒンジ領域内にガラクトース欠乏の O-結合型糖鎖を有することが実証されています。 単糖組成分析およびレクチンELISAにより、末端また□α2,6-シアル化N-アセチルガラクトサミン（GalNAc）残基の濃縮が確認されており、これ□IgAネフローゼで見られる異常な糖鎖構造を持つIgA1に特徴的な糖鎖形態である。 ノイラミニダーゼ処理により、Helix aspersa 凝集素の反応性が著しく増加し、シアル化された GalNAc 構造の存在が示唆される。
DAKIKI 細胞由来のゴルジ体濃縮画分を用いた機能アッセイにより、 CMP-NeuAc:GalNAc-IgA1 α2,6-シアル酸転移酵素活性が実証され、これらの細胞が Gal を欠く O-グリカンを直接シアル化できることが確認された。 転写解析により、ST6-GalNAcIで□なくST6-GalNAcIIの発現が明らかになり、IgA1のヒンジ領域のGalNAcのα2,6シアル化を媒介するST6-GalNAcIIの役割が裏付けられた。
糖鎖研究における有用性に加え、 DAKIKI □、特定のヒト B 細胞株において免疫グロブリンの分泌を調節しうる B 細胞誘導因子およびフォールボールエステルに対する反応性についても評価されている。 DAKIKI □恒常的に IgA を分泌するが、免疫グロブリン産生の調節および分化状態の研究に使用される EBV 形質転換 B 細胞モデルの一つとして含まれている。 DAKIKI□、安定したIgA1分泌プロファイルと、ガラクトース欠乏の α2,6-シアル化ヒンジ領域糖鎖の再現性のある産生により、 IgA1の糖鎖修飾、B細胞分化、およびIgA関連疾患の分子病態のメカニズムを解明するための、十分に特徴づけられた in vitroシステムとなっています。

ティッシュ	末梢血

同義語

- DAKIKI
- DAKIKI Clone 1

分類

生物	人間
セックス	未指定
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	2

特徴

形態学	リンパ芽球
細胞の種類	B細胞

識別子

引用

DAKIKI（Cytion カタログ番号 305928）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_3675

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	なし

継代培養

フラスコ内の細胞懸濁液をピペッティングにより上下に優しく均質化し、代表的なサンプルを採取して1mlあたりの細胞密度を測定する。新鮮な培養液で懸濁液を希釈し、細胞濃度を1×10⁵細胞/mlに調整した後、調整した懸濁液を新たなフラスコに分注し、さらなる培養を行う。

播種密度	2～5×10⁵細胞/cm²
流体の更新	週2～3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 200 x g for 5 minutes, carefully discard the supernatant containing freezing medium.
Follow the procedure described under Post-Thaw Recovery

品質管理と凍結保存

凍結培地	凍結保存培地として、解凍後の生存率を十分に高めるため、完全増殖培地＋ 10%DMSOを使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	特定せず
民族	アフリカ人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に 、フェイスマスクまた安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ 、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。

当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。

すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。

詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB